AudioComm®

取扱説明書

ワイヤレスヘッドホン W125

型番：HP-W125N-W　品番：03-1667
HP-W125N-K　03-1668

このたびは、AudioComm® ワイヤレスヘッドホン W125を お買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

免責事項　下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

⚠危険　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

●充電式電池(リチウムポリマー電池)が液もれしたときは、素手で触らない
- 本製品には充電式電池が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
- 万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- 液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。

⚠警告　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

●心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは装着部位から22cm以上離す
- 電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

●航空機内や医療機器の近くで使わない
- 電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。

●雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び充電コードに触れない
- 感電するおそれがあります。

●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する
- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

●万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する
- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

●分解、修理、改造しない
- 火災・感電の原因となります。

●本機及び充電コードの上に重いものをのせない
- 破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。

●充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
- コードが破損して火災・感電の原因となります。

●付属の充電コード以外では充電しない
- 火災や感電、機器の故障の原因となります。

●自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない
- 高温になると、危険を防止するため充電式電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

●運転中は本製品及びスマートフォンを使用しない。運転中にスマートフォンの画面を注視しない。運転中以外でも、周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など)では本製品を使わない
- 必ず道路交通法に従ってください。事故やけがの原因となります。
- 歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようにご注意ください。

●火の中に入れない
- 本製品には充電式電池が内蔵されており、誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因となります。

⚠注意　以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

●小さなお子様の手の届かないところに保管する
- 思わぬ事故を招くことがあります。

●長時間、大音量で聴き続けない
- 聴力障害などの原因となることがあります。

●浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない
- 感電や故障の原因となります。

●ぬれた手で操作しない
- 故障や感電の原因となることがあります。

●暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない
- 破損・故障の原因となります。

●振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない
- 落下してけがをしたり、破損・故障の原因となります。

●充電コードを熱器具に近づけない
- コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

●シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない
- 変形・変色の原因となります。

●キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない
- 内蔵されている磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。

●かばんの中に入れたままにしない
- かばんに力が加わるなどして、変形や破損、故障の原因となることがあります。

●自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない
- 電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。

●充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない
- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 必ずプラグ部を持って抜いてください。

●日本国以外では使用しない
- 本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
- 国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●**調子が悪いときは：**修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●**保証期間中は：**保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●**保証期間が過ぎた場合は：**修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

Bluetoothについて

Bluetoothは、比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内)で通信を行なう無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。

【バージョンとプロファイル】
本機はBluetooth標準規格 Ver.6.0(プロファイル：HSP、HFP、A2DP、AVRCP、SPP)に対応しています。ご使用にあたっては通信相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。
※すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。
※同じプロファイルに対応していても、性能・機能が制限される場合があります。

【通信可能範囲】
本機の通信範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

【セキュリティ】
本機は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

【使用周波数と注意事項】
本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。
- ご使用の前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
- そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

【機器認定について】
本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼付または印刷されている定格銘板をはがしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。
本機は日本国内でのみ使用できます。

R 210-260414

医療機器の近くで使用する際は、特に注意してください

●使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止する。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。
●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
●医療機関内で無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切る。ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
●無線機器の使用が制限された区域では、医療機関による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。
●その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では、十分注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。
●植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。

充電式電池について

絶対に交換しないでください。
誤って交換すると爆発する危険があります。

●充電式電池(リチウムポリマー電池：本機に内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
●充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

主な仕様

■電源	DC5V 1A(USB給電：USB Type-C端子)
■内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池(3.7V 300mAh)
■型式	口径40mm ダイナミック・密閉型
■インピーダンス	32Ω
■最大音圧	113dB±3dB
■通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.6.0
■対応プロファイル	HSP、HFP、A2DP、AVRCP、SPP
■対応コーデック	SBC
■変調方式/周波数帯域	GFSK/2.402～2.480GHz
■最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
■再生周波数帯域	20Hz～20kHz
■マイク指向性/感度	全指向性／-42dB±3dB
■マルチポイント	2台
■充電時間	約2時間(残量ゼロからフル充電まで)
■再生可能時間	約14.5時間(50%音量)
■通話可能時間	約15時間(50%音量)
■許容動作温度/湿度	温度：0～40℃　湿度：20～80%(結露なしにて)
■外形寸法	幅154.9×高さ167.6×奥行59.5㎜
■質量	約104.6g
■付属品	・専用充電コード(約24cm) ・保証書 ・取扱説明書

※最大通信距離、充電時間、再生可能時間、通話可能時間はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。
※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。
※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。
※本書で使用している図版は実際の製品と一部異なる場合があります。

お手入れのしかた

本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

故障かなと思ったら

●**充電できない**
- 充電コードはしっかりと接続されていますか(接続部がゆるんでいませんか)。
- 付属品ではない充電コードを使用していませんか。
- USB-AC電源アダプター使用時：家庭用コンセントにしっかりと接続されていますか(接続部がゆるんでいませんか)。

●**電源が入らない**
- 電池残量が減っていませんか。
- 電源ボタンを長押ししましたか(短く押していませんか)。

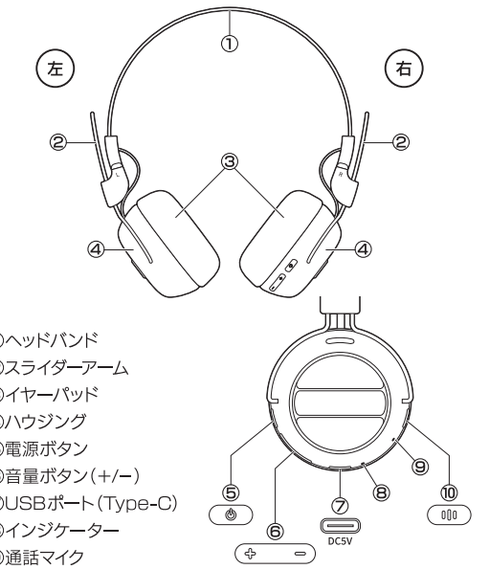
●**ペアリングができない**
- 相手側機器の電源は入っていますか。
- 相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。
- 相手側機器が他の機器と接続していませんか。
- 相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎていませんか。

●**音が出ない。ノイズやエコー音がしたり、音が途切れる**
- 正しくBluetooth接続されていますか。
- 本機または相手側機器の音量が最小になっていませんか。
- 相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎていませんか。
- 無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。

●**2回目以降使用時に、Bluetooth接続ができない**
- 本機及び相手側機器の電源は入っていますか。
- 相手側機器が他の機器と接続していませんか。
- 相手側機器がスリープ状態になっていませんか。
- 相手側機器内で本機の登録が削除されていませんか。

●**スマートフォンに着信があっても、本機が応答しない**
- 本機との接続が解除されていませんか。
- スマートフォンの設定がサイレントモードなど、着信を知らせない設定になっていませんか。
- 一部のスマートフォンでは、Bluetooth使用に際して切換操作が必要なものがあります。スマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

各部の名称



①ヘッドバンド
②スライダーアーム
③イヤーパッド
④ハウジング
⑤電源ボタン(+/−)
⑥音量ボタン(+/−)
⑦USBポート(Type-C)
⑧インジケーター
⑨通話マイク
⑩マルチファンクションボタン

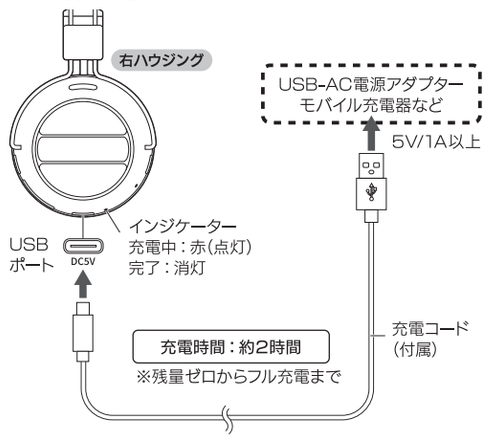
スライダーアームの調節

両耳にイヤーパッドが適度にフィットするよう、必要に応じて左右のスライダーアームを伸ばして調節してください。

充電のしかた

はじめて使うときは、十分に充電してください。

付属の充電コードを使って図のように接続してください。
※充電完了後は速やかに充電コードを抜いてください。



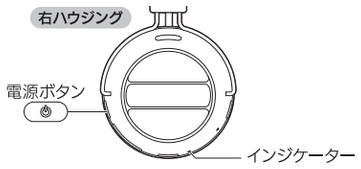
ポイント

- ●必ず付属の充電コードを使う。また、付属の充電コードを他の製品に使わない。
- ●5V/1A以上の電源供給ができるUSBポートに直接接続する(USBハブなどを介すると正常に充電されません)。
- ●家庭用コンセントで充電するときはUSB-AC電源アダプター(別売)を使う。

ご注意

- ●許容動作環境(温度：0℃～40℃、湿度：20～80%、結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していなくても、途中で終了することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- ●十分に充電したにも関わらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- ●長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなることがありますが、何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

電源のオン／オフ



電源オン

電源ボタンを長押しすると、電子音が流れて電源が入ります。

- ●インジケーター(赤/青)が交互点滅し、サーチモード(接続可能な機器を探している状態)になります。
- ●初めてのBluetooth機器と接続するときは、「ペアリングのしかた」を参照してペアリングしてください。

電源オフ

電源が入っているときに、電源ボタンを長押しすると、電源が切れます。

- ●インジケーター(赤)が点灯した後消灯し、電子音が流れて電源が切れます。

ヒント

- ●電池残量が少なくなると、インジケーター(赤)が点滅し、電子音がおよそ30秒ごとに流れます。そのまましばらくすると電源が切れますので、早めに充電してください。

ペアリングのしかた

はじめての機器と接続するときは、必ずペアリングしてください。

ペアリングとは、本機とBluetooth機器(相手側機器：スマートフォンなど)を相互に初期登録する操作のことです。

❶ 本機と相手側機器に近づけ、双方の電源を入れます。

- ●1m以内に近づけて、相手側機器→本機の順で電源を入れてください。
- ●本機の電源を入れると、インジケーター(赤／青)が交互点滅し、サーチモードになります。

❷ 相手側機器で本機を登録します。

Bluetoothの設定画面を開く

iPhone：[設定]→[Bluetooth]
Android：[設定]→[Bluetooth]
[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

上記は参考例です。各機器付属の取扱説明書を参照して、Bluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

▼

本機を登録する

本機の名称「HP-W125N」が表示されたら、それを選択します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。
※機器によってはご自身で設定したパスワードが必要な場合があります。

▼

本機との接続が完了すると…

電子音が鳴って本機を使用できる状態になります。Bluetooth接続中はインジケーター(青)が約5秒ごとに点灯します。機器や使用アプリによってはマルチファンクションボタンを押すと再生が始まる場合もあります。

ご注意

- ●本機はBluetooth標準規格 Ver.6.0(プロファイル：HSP、HFP、A2DP、AVRCP、SPP)に対応しています。相手側機器によりプロファイルの選択が必要な場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- ●本機がすでに別の機器とBluetooth接続していたり、相手側機器が他の機器と接続中は、本機とのペアリングはできません。その場合は、本機及び相手側機器の既存の接続を解除したうえで、ペアリングを始めてください。
- ●サーチモードのまま約5分経つと、本機の電源が切れます。その場合はもう一度最初からやり直してください。
- ●ペアリング完了後、Bluetooth接続中は、無動作状態(音楽などを聴いていない状態)が続いた場合でも自動的に電源は切れません。そのままかばんなどにしまうと、電池を消耗するだけでなく、電話着信などに気づかないことがありますので、必ず本機の電源を切ってください。
- ●ペアリング完了後、ご使用中に接続が途切れたり、正常に動作しなくなったときは、
  - ・本機と相手側機器との間に障害物がある
  - ・所定の通信距離以上に離れている
  - ・本機または相手側機器の電池残量が減少している

  などが原因として考えられます。それらを確認しても改善されない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、再度ペアリングし直してください。

音楽を聴くときの操作

再生⇄一時停止	▯▯▯	マルチファンクション ボタンを押す
音量を調節する	＋ −	音量ボタン(+/−)を押す +ボタン：押すたびに 音量が上がります ※1 −ボタン：押すたびに 音量が下がります
次の曲へ スキップ		+ボタンを長押しする
曲の先頭に 戻る		−ボタンを長押しする ※2

※1　最大音量に達すると電子音が鳴ります。
※2　直後にもう一度長押しすると、1つ前の曲にスキップします。

ご注意

- ●接続先の機器や使用アプリによっては、動作のしかたが異なっていたり、操作しても機能しないことがあります。
- ●一時停止中にスキップ操作をしたときは、マルチファンクションボタンを押して再生を開始してください。

通話に関する操作

電話に出る	▯▯▯	着信中にマルチファンクション ボタンを押す
通話を切る		通話中にマルチファンクション ボタンを押す
着信拒否		着信中にマルチファンクション ボタンを約2秒間長押しする
リダイヤル		マルチファンクションボタンを すばやく2回押す ※
音量を調節する	＋ −	音量ボタン(+/−)を押す +ボタン：押すたびに 音量が上がります −ボタン：押すたびに 音量が下がります

※直近の着信元にリダイヤルします。

ご注意

- ●スマートフォン側で、サイレントモードなど着信を知らせない設定になっていると、本機から着信音が聞こえないことがあります。
- ●一部のスマートフォンでは、着信音が1回だけ本機から出力される機種やBluetooth使用に際して切換操作が必要なものがあります。機器付属の取扱説明書でご確認ください。
- ●着信時に本機のマルチファンクションボタンで応答した場合は、そのまま本機で通話できますが、スマートフォン側で応答操作をすると、本機からは通話音声が出力されないことがあります。その場合は、必要に応じてスマートフォンで通話音声の出力先を切り換えてください。
- ●衣服やマフラーなどで通話マイクをふさがないようご注意ください。

音声アシスタントについて

▯▯▯ Bluetooth接続中にマルチファンクションボタンを約2秒間長押しすると、音声アシスタントを起動します。

ご注意

- ●起動する音声アシスタントは、接続中の相手側機器により異なります。
- ●音声アシスタントは、相手側機器の機種により、音楽再生中は起動しないなど、動作が異なる場合があります。
- ●機種によっては、マルチファンクションボタンを操作しなくても、呼び出しキーワード(音声)で起動できる場合があります。

マルチポイント機能の使いかた

マルチポイント機能を使うと、2台のスマートフォンを待ち受けることができます。以下の手順で設定してください。

❶ 1台目のスマートフォンとペアリングし、接続した状態にします。

❷ ステップ❶のスマートフォンのBluetooth機能をOFFにします。その後、本機の電源も切ります。

❸ 2台目のBluetooth機能をONにした後、本機の電源を入れて、2台目とペアリングします。

❹ 本機の電源を切り、2台目のスマートフォンのBluetooth機能もOFFにします。

❺ 1台目→2台目の順でスマートフォンのBluetooth機能をONにし、最後に本機の電源を入れます。

※2台のスマートフォンに自動的に接続されない場合は、スマートフォンを操作して手動で接続してください。

ヒントとご注意

- ●**いずれかのスマートフォンに着信(呼び出し)があった場合：**
  マルチファンクションボタンを押すとその電話に出ることができます。
- ●**2台とも着信があり、呼び出し中の場合：**
  マルチファンクションボタンを押すと、最初にかかってきたスマートフォンとつながります。
- ●**通話中にもう一方のスマートフォンにも着信があった場合：**
  - ・マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、通話中のスマートフォンは保留になり、後からかかってきた電話に出ることができます。
  - ・もう一度マルチファンクションボタンを2回続けて押すと、後からかかってきた電話を保留し、元の電話(最初にかかってきた電話)との通話を再開します。
    通話が終了すると2台とも待受状態になります。
- ●スマートフォンの機種によっては、マルチファンクションボタンによる操作で通話を終了することができないことがあります。その場合は相手に通話を切ってもらうか、スマートフォン側で操作をしてください。
- ●**リダイヤル機能について：**1台目のスマートフォンのみリダイヤル機能が有効です。ただし、スマートフォンの機種によっては、ロックがかかっているとリダイヤル機能を使えない場合があります。
- ●マルチポイント機能が使えるのはスマートフォンのみです。パソコンやゲーム機との同時待受はできません。
- ●本機と接続した2台のスマートフォンを3者間通話などで同時に使うことはできません。
- ●この機能はすべてのBluetooth対応スマートフォンでの動作を保証するものではありません。